

令和2(2020)年度 第1回部長会 各部報告事項

開催日：2020年10月7日

[事務局]

<庶務部（熊谷理事兼任）>

- ・各会議の運営
- ・ボランティア保険の案内及び委嘱状の準備
- ・会員名簿の作成
- ・web会議システムの準備（マニュアルの作成）
Zoom 契約済み。事務所内のインターネット環境、OA 機器類の見直し中。
- ・オンライン研修用の貸し出し用 PC 購入やタブレット貸し出しについて検討していく

<財務部（引地）>

- ・第一四半期決算、上半期決算作業を行った。
- ・会計説明会の実施が困難であったため、スライド配布にて説明会の代替えとした。
- ・Zoom 契約の為に必要となったため、県士会で使用するクレジットカードを作った。
- ・WEB 研修会の参加費徴収のため、ゆうちょ銀行にて振替口座を開設した。

<渉外部（金澤理事兼任）>

- ・今年度は認定審査会の勉強会はおこなわない。
- ・介護認定審査委員・障害支援区分審査会委員の推薦のため、会員に希望調査をおこなっている。適宜、推薦の選定作業をおこなっている。選定にあたり、渉外部の内規を作成し、基準に沿って選定している。
- ・地域ケア会議の推薦者（大崎市）の選定をおこなった。また仙台市の推薦者の選定をおこなっている。来年度の希望者の調査を11月におこなう予定。

<福利部（安達）>

- ・県学会やブロック会での託児サービスが予定されていたが、新型コロナウイルスの影響でオンラインに切り替わっているため、託児サービスは行っていない。
- ・県士会活動のポイント制度に関しては新型コロナが流行する前に出た案で平時を想定していたが、現在は自宅に持ち帰っての仕事となっている為、導入を見合わせて、理事会で検討していく。

[事業局]

<事業部（酒井）>

- ・昨年度は各区の区民祭りに参加していたが、今年度は全面中止、OT フェスタについても見直しとし、県民への普及啓発、学生への県士会活動の啓発を広報部と連携して実施していく。

<広報部（相澤理事兼任）>

- ・これまでの広報部の活動に対し、今年度の新型コロナウイルスの影響による研修会、イベントの減少に対するものも含め広報部全体の活動の見直しを行う。
- ・県士会 HP の運営。
- ・県士会 LINE の立ち上げ、運営開始を行う。

[学術局]

<学術部（高木）>

- ・県学会のオンライン開催に伴い、タイムスケジュールや開催方法など大幅な見直しを迫られている中で、学会班として開催期日に間に合わせるべく必要な支援を行っていく。
- ・研究助成事業については、修了者に対し「みやぎ作業療法」への投稿に向けた働きかけを行いながら、研究助成に関わった者の誰が投稿義務を負うのかについて審議をしていく。
- ・学会誌班では引き続き発行に向けた原稿依頼などの作業を遅滞なく行う。また、現在紙媒体と CD-ROM で原稿を提出することになっているが、メールによるデータでの提出についても審議していく。

<教育部（荒井）>

- ・今年度、地域支援部からの部員移行に伴い、部内班体制を変更。
新規班編成：生涯教育班、単位認定班、臨床教育班、地域支援班、MTDLP 班
- ・今年度予定していた研修会を見直し、下半期に zoom を使用して以下研修会を実施予定。（12 回分）
現職者研修（共通研修、選択研修、MTDLP 基礎）、地域包括ケア人材育成研修、MTDLP 書き方・多領域研修・zoom の使い方研修、年度末主催研修（第 1 回を 10 月 23 日に Zoom の使い方研修＋キャリアアップ研修、第 2 回を 10 月 25 日に予定）
- ・現職者共通研修は受講料無料のため、減収だが印刷代等の支出も概ね発生しない予定。

- ・現職者選択研修は受講料有料、振替口座に入金してもらう。
- ・長時間のオンライン研修は受講者が受け身となりやすいという意見が出されたが、今年度は下半期からの開催となるため、今までの研修同様の形で進めていき、休憩を取り入れる等の配慮をしていきたい。研修会の形態については来年度に向けて検討していくこととなった。

[企画管理局]

<企画調整部（櫻井理事兼任）>

- ・中学校の職場体験は今年度分は全て中止となり、来年度に向けて準備を進めていく。
- ・宮城県の作業療法士紹介動画（E-learning形式）にして配信予定。

[委員会]

常<選挙管理委員会（太田）>

- ・令和3年度役員改選に向けて2月頃から告示書類準備、お知らせを行っていく予定。コロナ禍を配慮し、通常通りの総会開催が困難な場合、議決権での選挙となる可能性がある。
- ・来年度の総会での代議員制度の導入審議について、組織検討委員会内で準備を進めていく。

常<ブロック活動推進委員会（淀川）>

- ・例年、共通テーマ研修、事例検討、自由テーマにて研修を企画していたが、オンラインによる活動のため、これまで各ブロック単位で実施していた共通テーマ研修を、近隣ブロックと合同開催とした。
- ・会議や研修による参集を見合わせたことで、予算案が削減されたため、ブロック長推進委員会にて年度内の活動見通しを共有した。
- ・事例検討会は教育部が窓口となり、11月から募集開始とし、12月25日を応募締切とする予定。
- ・各ブロック単位で通信環境等も確認していく。

常<法人組織検討委員会（久保田）>

代議員制に伴う定款等の改正案を10/21第4回常任理事会に合わせて検討する予定。

常<緊急時対策委員会（上遠野監事兼任）>

- ・令和2年9月2日にZoomによるWeb会議で今年度第2回目の代表者会議を実施した。当士会から2名参加した。災害時に運用するマニュアルの改定のため、各職能団体で分担している事項の確認を行った。また、今年度研修会についてはオンラインもしくはオンデマンドによる講演会を行う予定。テーマは昨年の東日本台風時のJRAT MIYAGIの活動の内容の振り返りを実施する予定。
- また、福祉用具供給協会東北ブロック宮城県支部担当者と連携を取り、災害時の福祉用具供給の仕組みについて連携をとることとなった。各部議事録のホルダー内に福祉用具に関する「大災害時における福祉用具の地域連携マニュアル」アップしているので参照のこと。
- ・宮城県リハビリテーション専門職協会との連携を構築していく。

特<訪問リハビリテーション・ステーション推進委員会（鈴木美）>

- ・毎年開催している実務者研修会の開催の仕方検討中だが、基本的には今年も開催予定。オンライン研修であれば、訪リハ財団から配信されるものを利用していくことができないか、問合せ中。県独自にオンラインを使用しての研修は環境調整等が課題。

特<運転と作業療法委員会（菅野）>

- ・7月第1回、10月8日に第2回委員会開催予定。
- ・研修会を今年度1回は開催予定。県士会事務所を利用しての発信予定。

特<第21回県学会実行委員会（高橋）> 2020年度開催

- ・令和2年12月6日Web開催に向けて準備中。テーマは「卒前・卒後教育を考える」で4名のシンポジストが決定。演題は査読作業中。
- ・当初は人数を制限して一部対面、一部Web開催を検討したが、東北学会を参考に、全Web（オンデマンド）開催に変更。この変更に応じ、通信環境などの条件の確認、準備を進めている。
- ・通信環境、レンタルサーバーの整備などの予算は未確定の部分もあり、検討中。参加費は無料とし、県士会HP上の参加申込フォームより申込み形とする予定。

特<第22回県学会実行委員会（学術部預かり）> 2021年度開催

第21回終了後に担当ブロックと検討していく（担当ブロック：石巻・宮城野・若林）

特<設立40周年記念事業実行委員会（担当理事 畑中・熊谷）> 2023年度

- ・委員の人選はまだ行えていない。年度内の組織作成を目指したい。